

Shape your world



留学とキャリアデザイン

立命館アジア太平洋大学

アカデミックオフィス 佐間野

2013年6月21日



多文化共生型キャンパス

Shape your world



世界

78

カ国・地域からの
国際学生2,420名と国内学生3,235名
合計5,655名が学ぶ国際大学

(2013年5月1日付／学部生、大学院生、交換留学生などの非正規生含む)

開学以来、学生が在籍したことのある国・地域

130

以上

正規留学生比率 90.2%
外国人留学生比率 42.8%

教員総数 162名
外国籍教員総数 79名
外国籍教員比率 48.8%

※2013年5月1日付
※聴講生、研究生、交換留学生含む

※2013年4月1日付
※総数は常勤の教授、准教授、講師の合計

国際通用性のある教育システム

学生をしっかり学ばせる教育システム

春・秋の2回入学とクォーター制の採用

- 開学以来、春と秋、年2回の入学・卒業を実施
- クォーター制(1クォーター=2カ月)とセメスター制の併用により、柔軟な学習スケジュールが可能
- 集中的な学び(同一科目週2回)で学習の節目・山場が頻繁に

日英二言語教育 ※学部のみ

- 「英語を学ぶ」から、「英語で学ぶ」へ
- 習熟別クラスと少人数授業で徹底的に鍛える言語教育
- 多文化キャンパスのいたるところで鍛えられる言語運用能力
- 授業ではプレゼンテーションやディスカッションを多用

体系的なカリキュラムと国際基準の成績管理

- 科目レベルと履修の順次性を示す科目ナンバリング
- 5段階評価とGPA(Grade Point Average)による厳格な成績管理
- 期末試験は成績の50%以下、日々の学習や授業参画状況も評価
- 海外の大学で採用されているUMAP単位互換方式(UTCS)を採用

協調学習システム

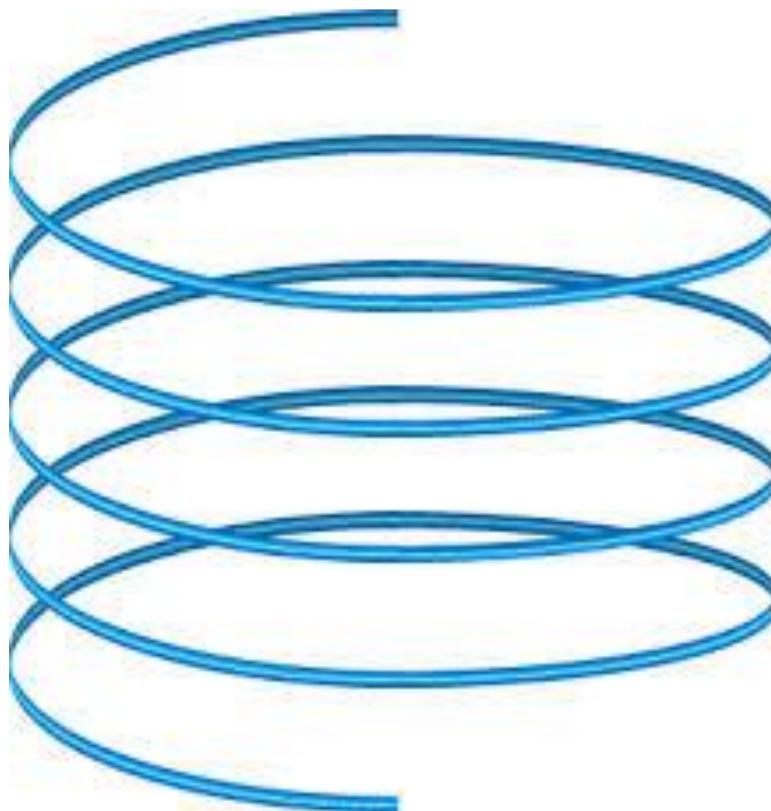
- 学生が学びあう環境、文化
- 多様な学生スタッフが大学運営や教育活動に参画
- 言語自主学习センター「SALC」で学生同士が教えあう
- ラーニング・コモンズで活発なグループワーク



留学とキャリア

- 卒業時の就職先はいまは存在しない(かもしれない)
 - 学ぶことが出来るスキル、生き抜く力、
 - 業種を特定しない「力」の育成
- 生き抜く力の涵養～留学経験という側面から
 - ① 早い時期からの動機付け
 - 入学直後の留学プログラム (FIRST)
 - ② プログラムによる学びの「パワフルさ」・キャリアと直結した留学(SEND)
 - ③ 段階的・意図的なプログラム構造
 - ひとつのプログラムの終わりが他の上位プログラムの始まりになる仕組み

入り口から出口までのスパイラル



早い時期からの動機付け—FIRST

韓国全土規模の異文化オリエンテーリング: Short but Powerful

- 少人数のグループごとに学生の力で目的地を目指す
- 現地でリサーチ活動
- 目的地は実習当日にくじ引きで決定
- 実習中の移動・宿泊・食事の手配を学生自身が行う
- 航国出身のTA (Teaching Assistant)、APU教職員が危機管理等の支援のため同行



OUTCOME→異文化への強い興味、成功体験(自信)、枠にとらわれない思考

プログラムによる学びの「パワフルさ」・ キャリアと直結した留学—SEND

- 2012年度：ベトナム、ボツワナ
- 2013年度：タイ、インド

受動的な「参加者」から能動的な「提供者」へ
「提供者」としてのキャパシティー向上

Open Mind- 本質を理解しようとする態度

→「生き抜く」力の育成、キャリア形成への興味

キャリアサポート

- インターンシップ（主に国内）
 - オンキャンパスリクルーティング
 - 交換留学
 - 2012年度時点で113校の協定校
 - 出発前・帰国後のキャリア講座
- 他に差をつける留学のしかた
留学の経験を効果的に「売る」方法

後ろ倒しに関する議論

【想定される課題】

- 春・秋入学採用大学にとってのチャレンジ
- 地方大学へのチャレンジ

【在学中にしっかり学ばせる仕組みの担保】

- APUにおける勉強させるしかけ
- 社会を生き抜く「キャリア形成」の必要性